

## 第7回「雪の学習」研究会

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立星置東小学校・北海道教育大学教育学部附属札幌小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2009年1月30日（金） 13:15～16:50

実施場所： 札幌市立星置東小学校

参加者数： 134名

概要：(a)公開授業・5年生総合的な学習の時間「雪国“札幌”に生きる2009」（田村 飯田 小笠原先生，星置東小）では、オリンピックが行われた札幌で冬のスポーツ人口が減っている理由を考えさせようとするもの。ゲストティチャーに招いたプロスキーヤーが札幌の魅力を語り、児童は強く印象づけられた。

(b)『雪プロ提案 完成！雪の学習カリキュラム集 Vol.1』では、新たに制作した「雪の学習カリキュラム Vol.1」やワークシート、「新千歳空港」に関する Web ページを使って、模擬授業提案を行った。

(c)『発信！冬の魅力を子どもたちへ』では、プロスキーヤーや札幌市スポーツ部、同雪対策室の取り組みが紹介された。

(d)事後アンケートによれば、研究会の満足度は5段階評価で4.1と好評だった。また、今回制作したワークシートを用いた模擬授業が高く評価された。しかし、Web ページ「北海道雪たんけん館」を見たことがない方がまだ過半数で、更に普及を図っていく必要がある。

参加者感想例：

- ・「星置東小学校の公開授業を通して、雪国に生きる子供たちが自分たちの住む街の良さを再認識し、その魅力を学んでいく学習過程が明確になっていて（かつ指導される先生の思いも）良かったと思います。」
- ・「プラン集があることで明日からの授業に生かしていけることが嬉しいです。また、使い方を模擬授業で教えて頂けたことが有難いです。」
- ・「期待以上に得るものが多く、参加して良かったです。授業や実践のヒントをたくさん頂きました。」
- ・「雪プロジェクトの実践・活動は素晴らしいと思いました。Web ページや実践資料を元に輪を広げてください。活用可能な内容は使わせて頂きます。がんばってください。また、参加したいと思います。」